

朗読ひばりの会

今年で設立31年目を迎えた員弁郡東員町を中心に活動する、朗読読み聞かせグループ「朗読ひばりの会」。その活動範囲は図書館をはじめ町の小学校、幼稚園、保育園、自治会のサークル、さらに視覚障がい者への町の広報誌の録音など範囲も広く町外でも活動しています。令和元(2019)年5月には長年の功績を認められ、緑綬褒章を受章しました。



林 さち子さん(左)
会長の小塚 良子さん(中央)
江上 百合子さん(右)

お問い合わせ

「朗読ひばりの会」
員弁郡東員町笹尾東3-33-21
TEL 090-7603-0234
(会長 小塚 良子さん)

三重県内で活躍するグループを紹介する「いま、グループネット」。今回は、員弁郡東員町で平成元(1989)年から30年以上も続く朗読のボランティアグループ「朗読ひばりの会」を訪ね、その活動の努力や醍醐味を会長の小塚 良子さんはじめメンバーの林 さち子さん、江上 百合子さんに伺いました。

——「緑綬褒章」受章おめでとございます。はじめに「朗読ひばりの会」の発足について教えてください。

江上：昭和の終わり頃、町内各地域にある地域文庫活動をする中で、本の貸し出しだけでなく、読み聞かせもしたいと町に働きかけ、開講された「朗読

——活動の中での喜びや、やりがいは何でしょうか？

小塚：子どもたちが目を輝かせ、身を乗り出して真剣に聞き入り、面白かった！もっと聞きたい!!と言って喜びを伝えてくれた時には、準備や練習の苦労は吹き飛んでしまいます。実際のところ読む本選びは、その年齢や季節は適しているかなどよく検討し、話し合いの時間を十分に持って丁寧に選んでいます。そして本が決まったらよく

講座を受講した仲間が集まって平成元(1989)年4月に「朗読ひばりの会」を発足しました。早いもので31年目になります。

——普段はどのような活動をしていらっしゃるのですか？

林：定期的な活動としては、町内を中心に毎月第2第4土曜日に図書館での読み聞かせのほか、小学校への朝の読み聞かせや、時には体育館でのおはなし会、また8月には平和学習、幼稚園、保育園の誕生会、そして未就学児に対して子育て支援センターや赤ちゃんへのブックスタート。また高齢者には各自治会の元氣サロンで民話を中心におはなし会を行っています。そのほか年

読解し、アクセントやイントネーションなども気をつけて全員でチェックし合い、念には念を入れていきます。

——30年以上も活動し、今や東員町を代表するグループだと思えますが、長年継続する秘訣は何でしょうか？

小塚：まずは本が好き、朗読が楽しい。それから私たち「朗読ひばりの会」には発足時からのモットーがあります。それは「一に家庭、二に朗読、勉強なくして人前には立たず」です。主婦が中

1回は保健福祉センターホールで、また5年毎の節目には、「東員町総合文化センターひばりホール」でプロの演者を招いての大きな「ひばりおはなし会」を開催しています。

——それは楽しそうですね。どんな舞台なのでしょう？

小塚：作品はもちろんのこと衣装や小道具を全部手作りし、超大型絵本やロール絵本、大型紙芝居を使う舞台です。創立15周年には常田 富士男さん、20周年には志茂田 景樹さん、25周年には室井 滋さんと長谷川 義史さん、そして30周年には「劇団わらび座」や有名尺八奏者も招いての記念すべき公演となりました。

心、そしてそのほとんどが高齢者のボランティアアグループでありながら、年間300日ほどの活動をするのですから家族の理解なしには成り立ちません。

——今後の展望を聞かせてください。

小塚：常に反省をしながら一歩前進を肝に銘じて、このまま活動できることが願いです。そしてさらなる願いは、新しいメンバーを迎えることです。

インタビュー！…末永薫



町内の小学校でのおはなし会※



大きな巻物のようなロール絵本



色あざやかな手づくりの大型紙芝居



ひばりホールでの「ひばりおはなし会」※